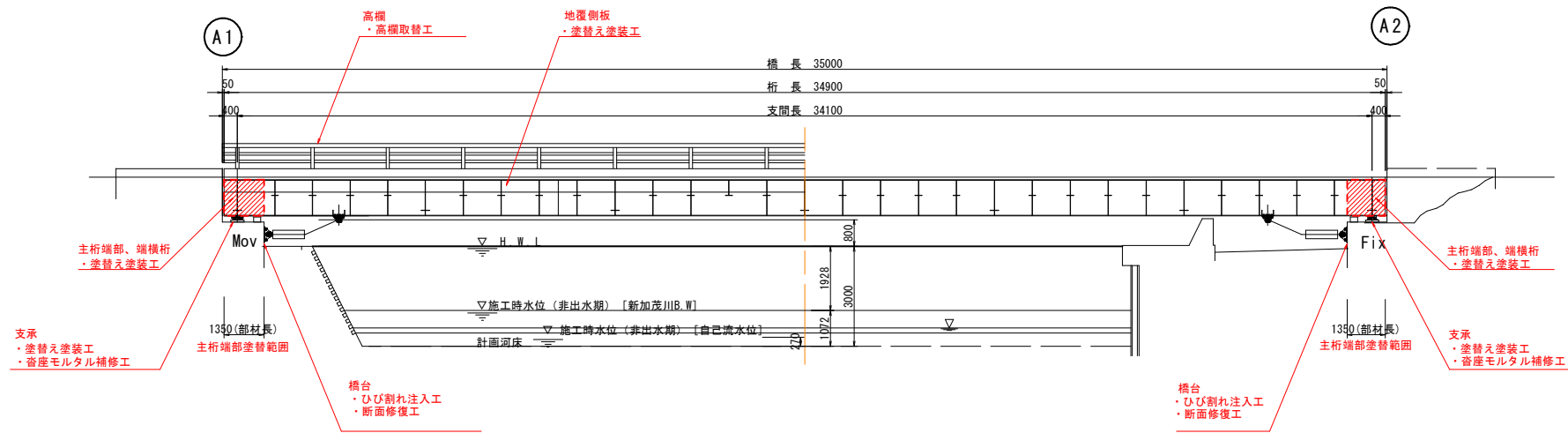
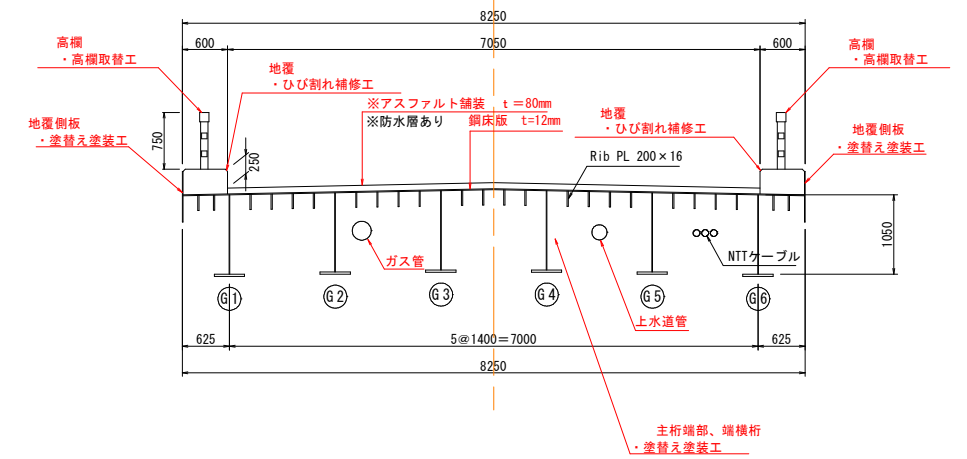


目久美橋 補修一般図

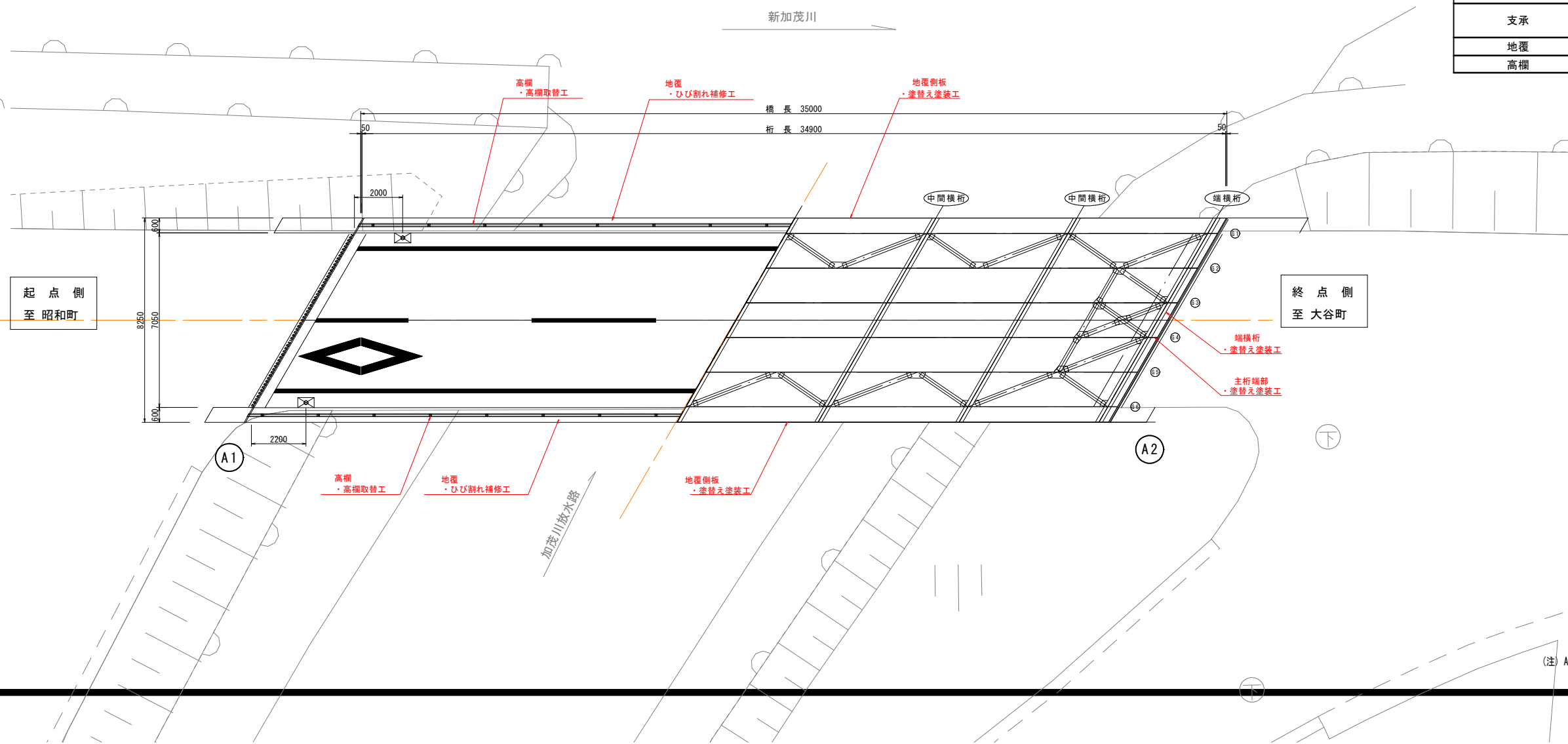
側面図 S=1:100



断面図 S=1:50



平面图 S=1:100



対策工法一覧表

対象部位	対策工	材 料
主桁端部,端横桁 地覆側板	塗替え塗装工	Rc-Ⅱ 塗装系 (塗膜剥離剤使用)
橋台	ひびわれ注入工	エポキシ樹脂注入材3種
	断面修復工(左官工法)	ポリマーセメントモルタル
支 承	支承防錆工	Rc-Ⅱ 塗装系 (塗膜剥離剤使用)
	沓座モルタル補修工	無収縮セメント
地覆	ひびわれ注入工	エポキシ樹脂注入材3種
高欄	高欄取替工	アルミ合金製高欄

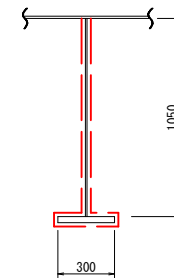
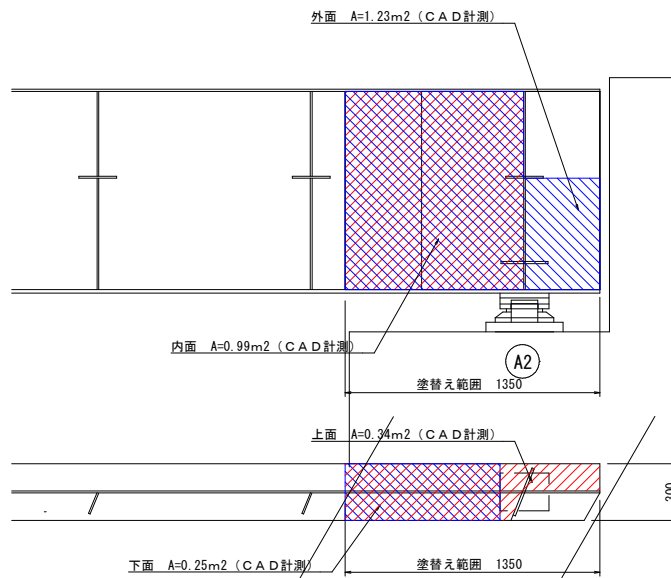
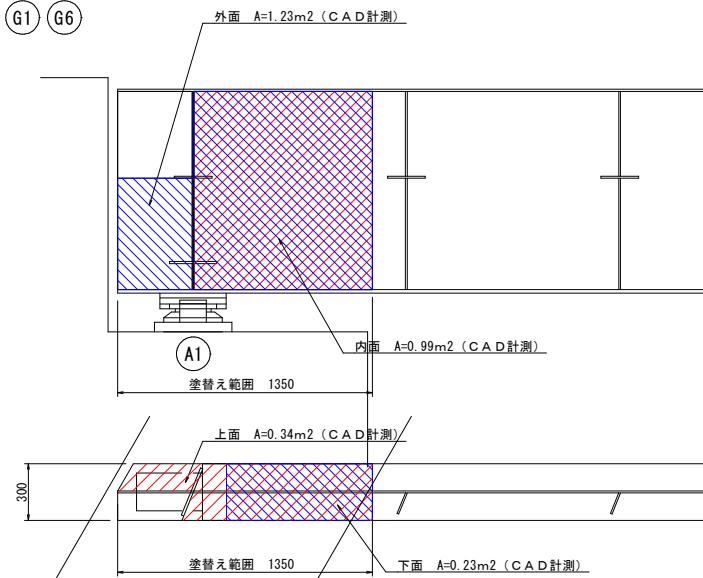
図面番号	第 10 枚 内 1 号
図面名称	市道昭和町大谷町1号線 日久美橋りょう補修工事 日久美橋 補修一般図
縮 尺	図 示
製図年月日	令和 年 月 日
写図年月日	令和 年 月 日
米子市 都市整備部 道路整備課	

(注) A3版は表示縮尺の1/2に縮小表示

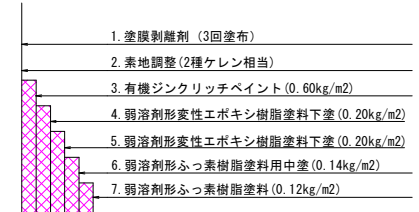
目久美橋 上部工補修図 (1) S=1:20

外桁

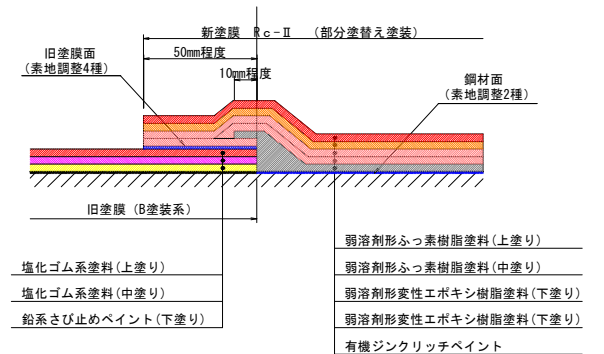
G1 G6



塗替え塗装工標準図
(Rc-II 塗装系)

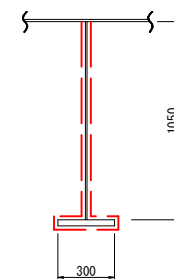
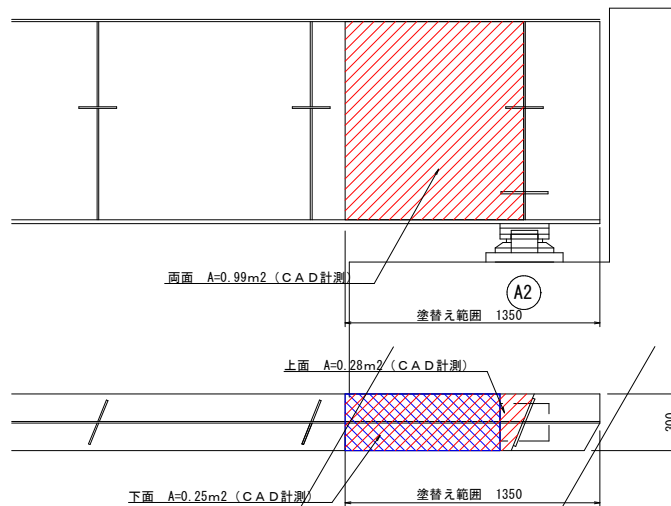
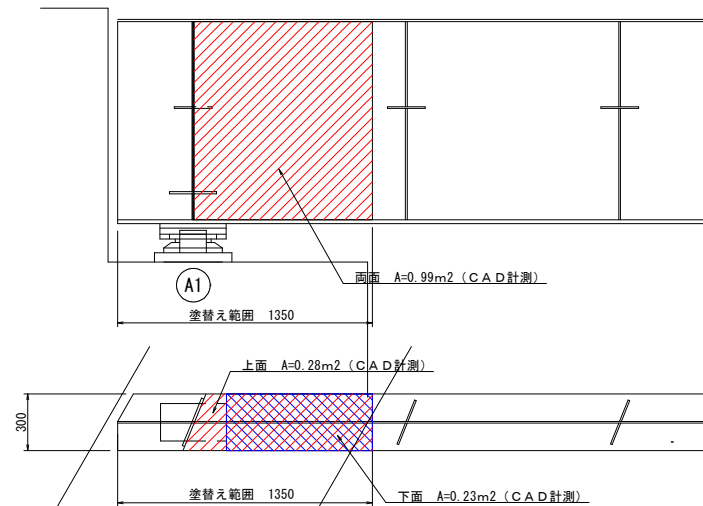


新旧塗膜の塗り重ね処理

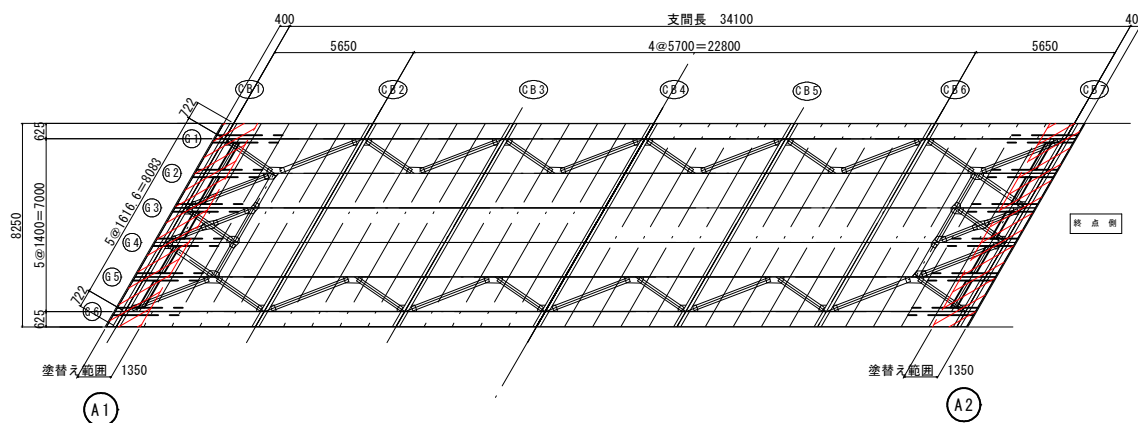


中桁

G2 G3 G4 G5



位置図



塗替え面積 (主桁) : 31.20㎡

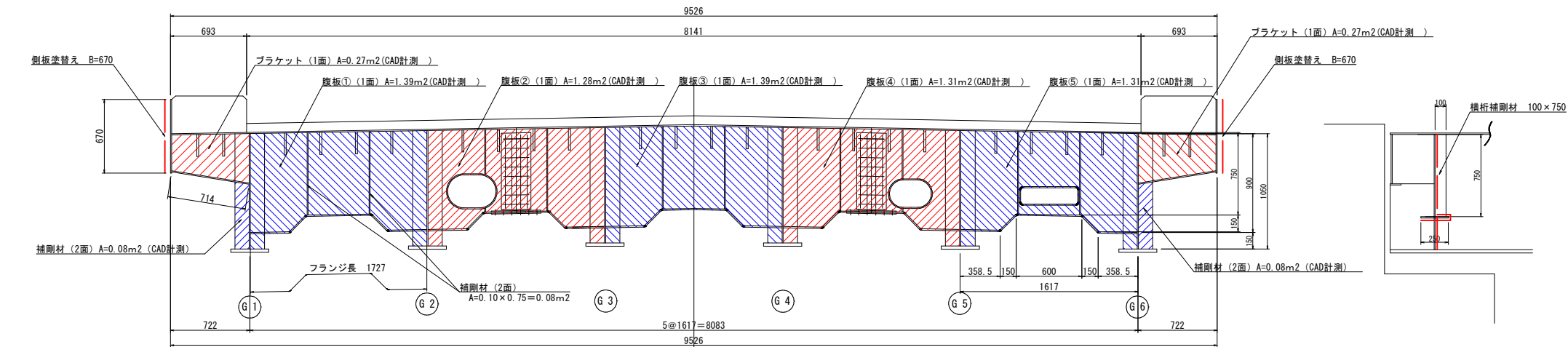
- 注 記
1. 本橋の旧塗装は、B塗装系にて塗替えが行われており、成分試験にて鉛が検出されているため、剥離剤を使用のこと。
 2. 塗膜剥離剤は、試験施工を行い塗布量及び塗布回数を最終決定のこと。
 3. 補剛材面積は、端横桁にて計上。
 4. 新旧塗膜は、塗り重ね処理を行うこと。
 5. 塗り重ね部は、新旧塗膜の付着性に配慮し弱溶剤エポキシ樹脂塗料を1層塗布し、その上ジンクリッチペイントを塗り重ねること。
 6. 狭所部の塗替え塗装が困難な部位は、監督員と協議の上、塗装範囲を決定のこと。
 7. 素地調整はサンダーによる全面ケレンを行うこと。

(注) A3版は表示縮尺の1/2に縮小表示

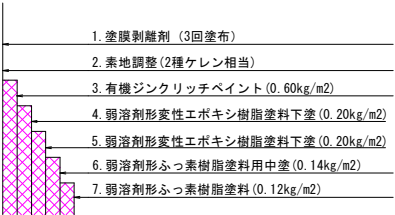
図面番号	第 10 枚 内 2 号
図面名称	市道昭和町大谷町1号線 目久美橋 上部工補修図 (1)
縮 尺	図 示
製図年月日	令 和 年 月 日
写図年月日	令 和 年 月 日
米子市 都市整備部 道路整備課	

目久美橋 上部工補修図 (2)

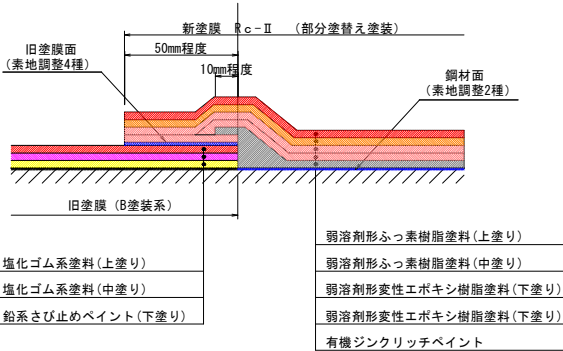
端横桁 S=1:25



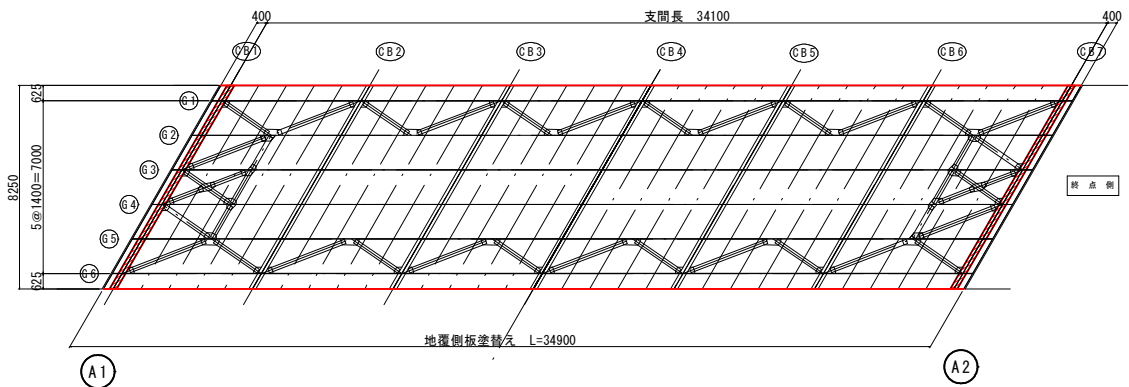
塗替え塗装工標準図
(Rc-Ⅱ 塗装系)



新旧塗膜の塗り重ね処理



位置図



塗替え面積（横桁）：25.86㎡

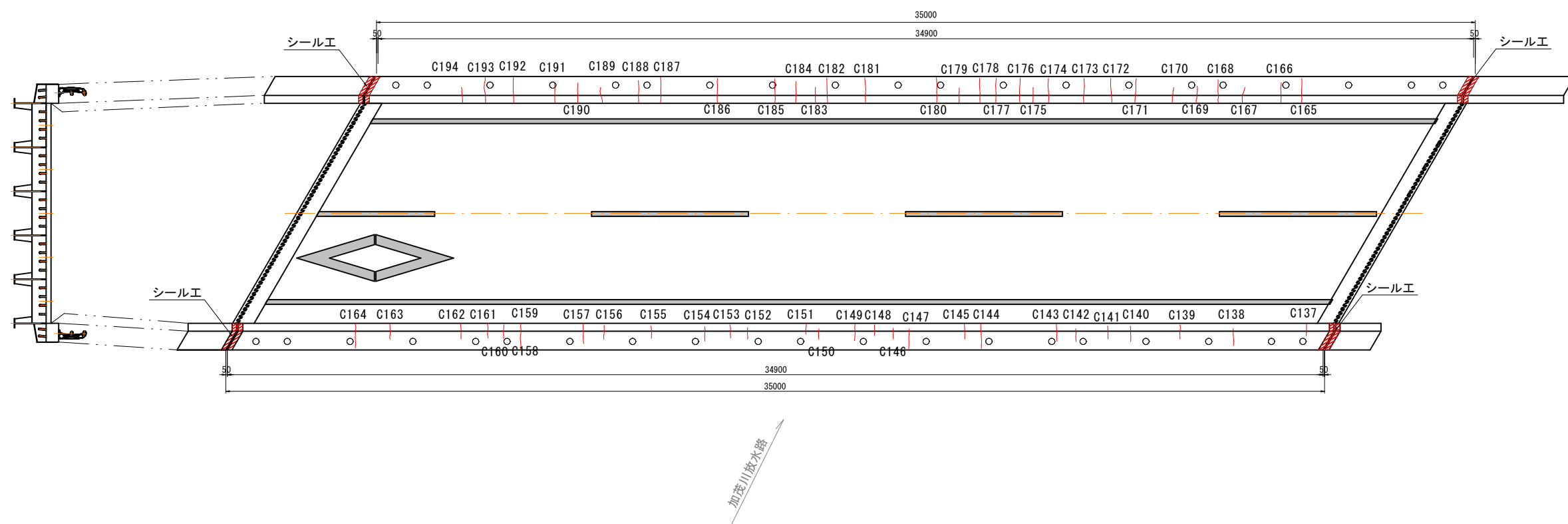
塗替え面積（地覆側板）：46.77㎡

- 注 記
1. 本橋の旧塗装は、B塗装系にて塗替えが行われており、成分試験にて鉛が検出されているため、剥離剤を使用すること。
 2. 塗膜剥離剤は、試験施工を行い塗布量及び塗布回数を最終決定のこと。
 3. 補修材面積は、端横桁にて計上。
 4. 新旧塗膜は、塗り重ね処理を行うこと。
 5. 塗り重ね部は、新旧塗膜の付着性に配慮し弱溶剤エポキシ樹脂塗料を1層塗布し、その上ジンクリッチペイントを塗り重ねること。
 6. 狭所部の塗替え塗装が困難な部位は、監督員と協議の上、塗装範囲を決定のこと。
 7. 素地調整はサンダーによる全面ケレンを行うこと。

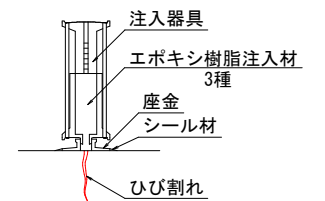
(注) A3版は表示縮尺の1/2に縮小表示

図面番号	第 10 枚 内 3 号
図面名称	市道昭和町大谷町1号線 目久美橋橋りょう補修工事 目久美橋 上部工補修図 (2)
縮 尺	図 示
製図年月日	令和 年 月 日
写図年月日	令和 年 月 日
米子市 都市整備部 道路整備課	

橋面
展開図



ひび割れ注入工 (参考)
(エポキシ樹脂注入材 3種)



ひび割れ注入工
合計(m) 31.05

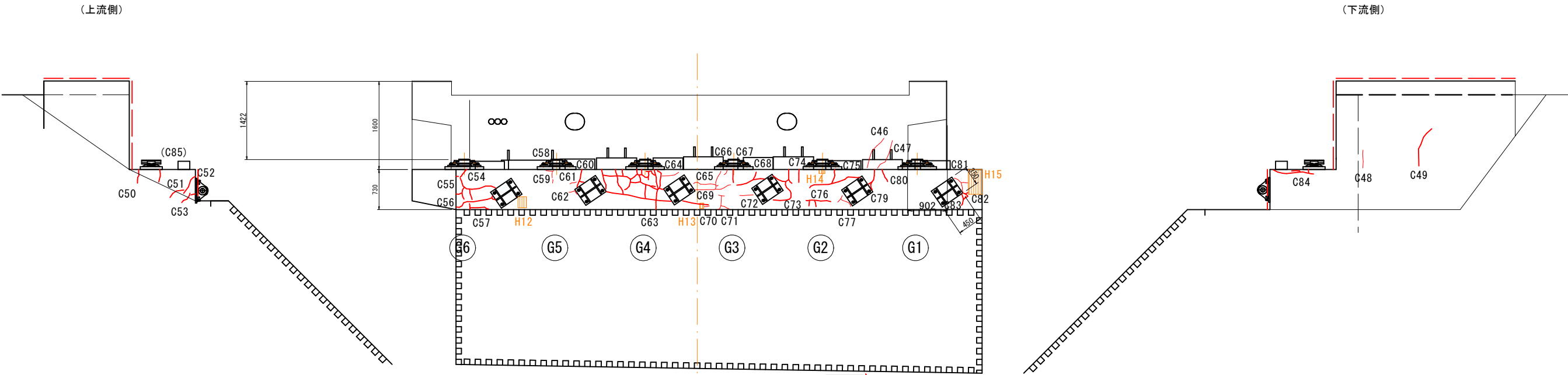
凡 例	
	ひび割れ注入工
	塗装塗替工 (Re-II 塗装系)

図面番号	第 10 枚 内 4 号
図面名称	市道昭和町大谷町 1 号線 目久美橋橋りょう補修工事 目久美橋 上部工補修図 (3)
縮 尺	図 示
製図年月日	令 和 年 月 日
写図年月日	令 和 年 月 日
米子市 都市整備部 道路整備課	

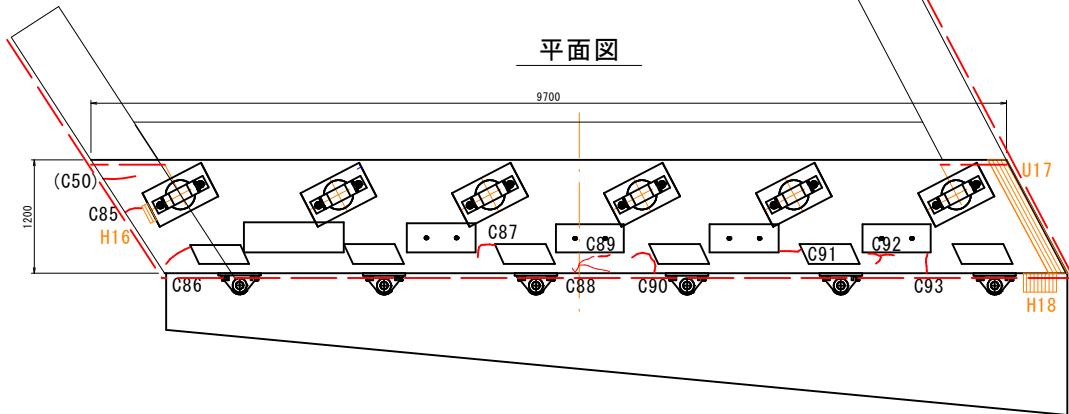
(注) A3版は表示縮尺の1/2に縮小表示

A1橋台

正面図

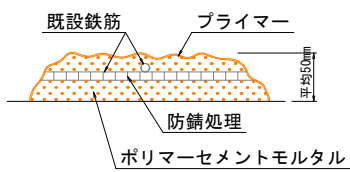


平面図



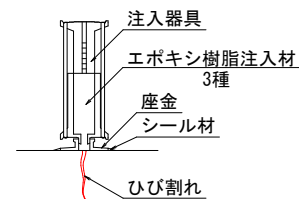
ひびわれ補修工	
合計(m)	28.30
断面修復工	
合計(m)	0.52

断面修復工 (参考)



※ 防錆処理は鉄筋露出を伴う場合に適用

ひび割れ注入工 (参考)
(エポキシ樹脂注入材 3種)



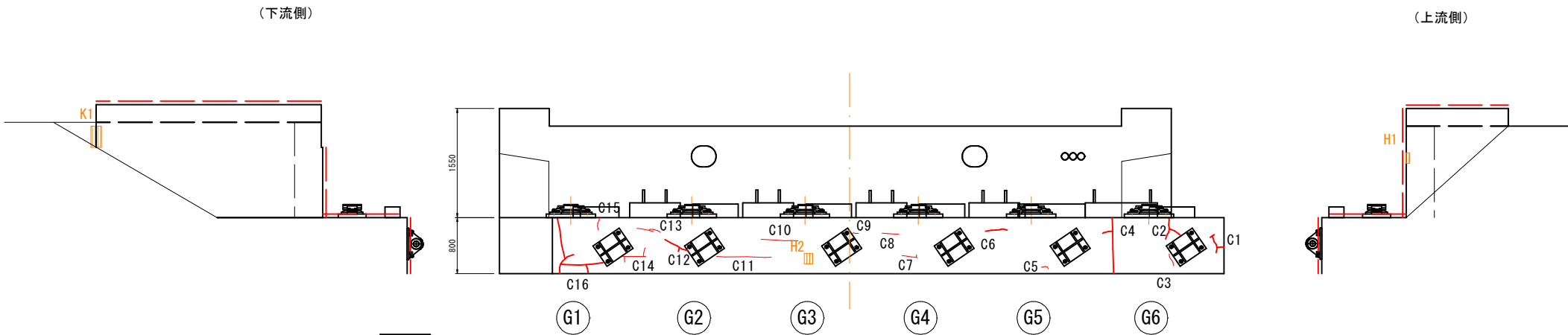
凡 例	
	ひび割れ注入工
	断面修復工

図面番号	第 10 枚 内 5 号
図面名称	市道昭和町大谷町 1 号線 目久美橋 下部工補修図 (1)
縮 尺	図 示
製図年月日	令 和 年 月 日
写図年月日	令 和 年 月 日
米子市 都市整備部 道路整備課	

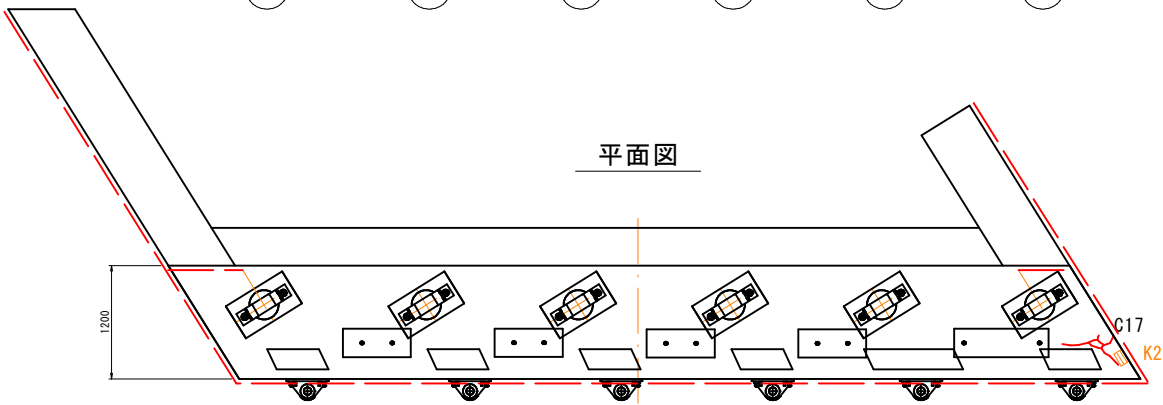
(注) A3版は表示縮尺の1/2に縮小表示

A2橋台

正面図

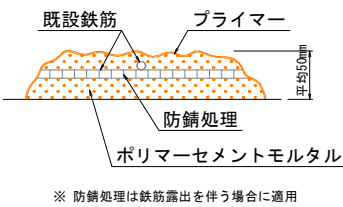


平面図

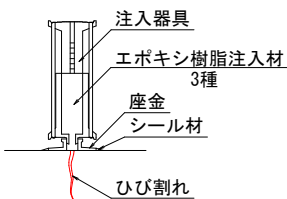


ひびわれ補修工	
合計(m)	9.40
断面修復工	
合計(m ²)	0.09

断面修復工(参考)



ひび割れ注入工(参考)
(エポキシ樹脂注入材 3種)



凡 例

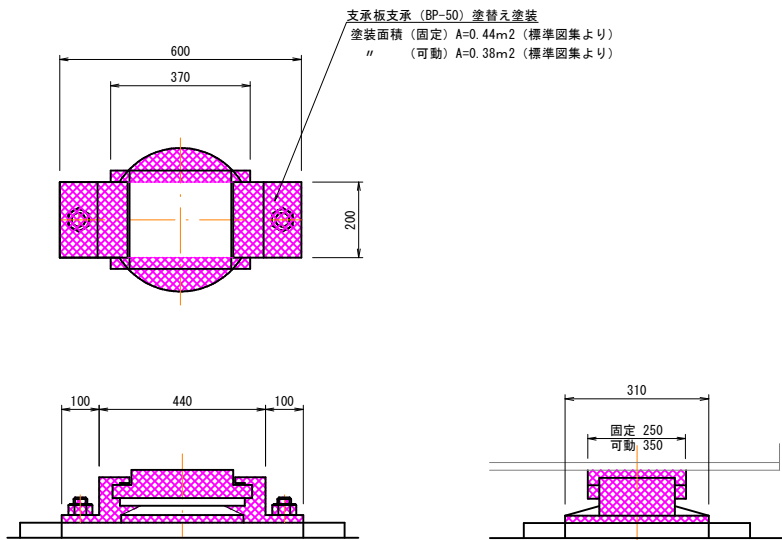
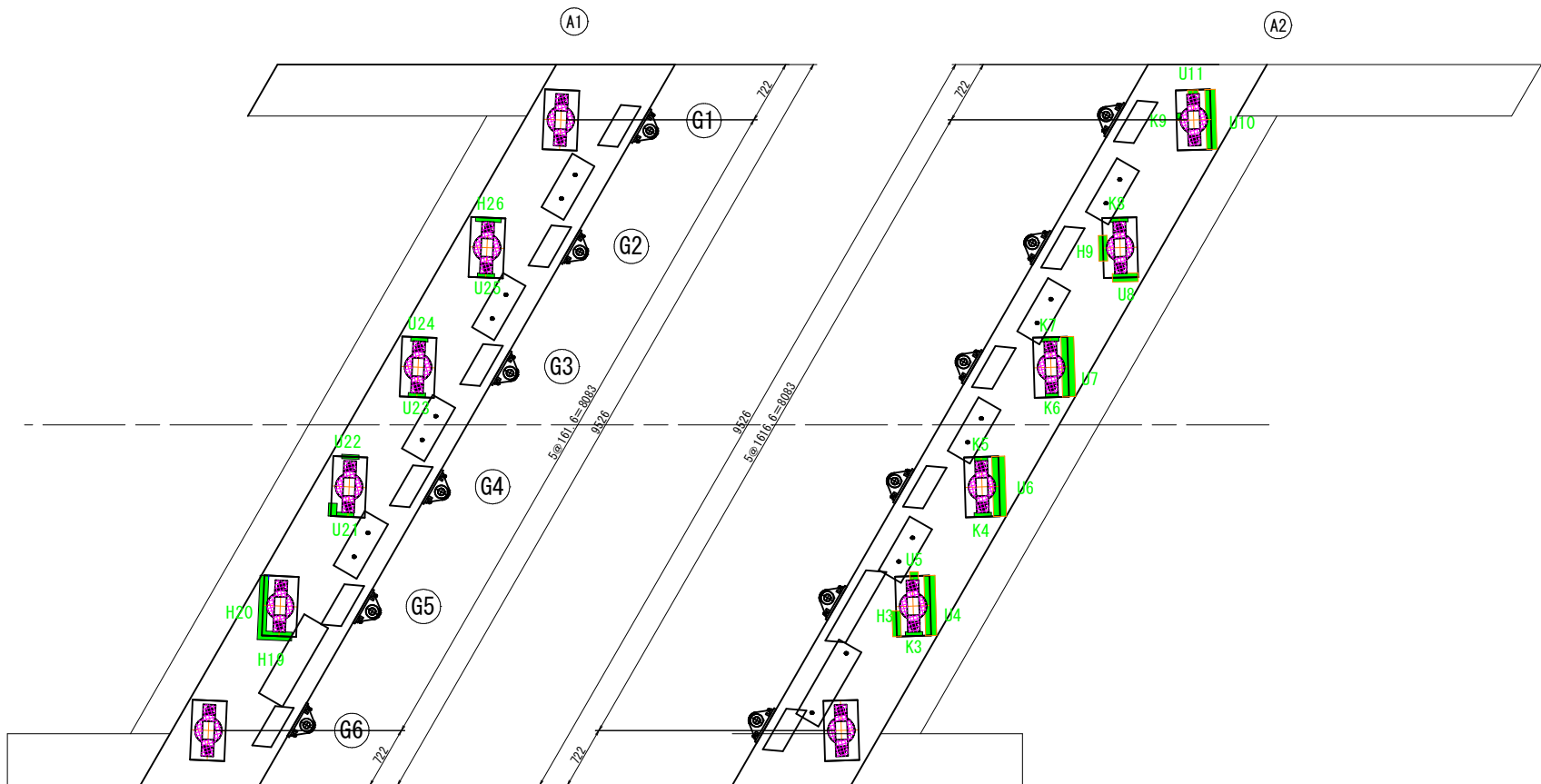
	ひび割れ注入工
	断面修復工

図面番号	第 10 枚 内 6 号
図面名称	市道昭和町大谷町1号線 目久美橋橋りょう補修工事 目久美橋 下部工補修図 (2)
縮 尺	図 示
製図年月日	令和 年 月 日
写図年月日	令和 年 月 日
米子市 都市整備部 道路整備課	

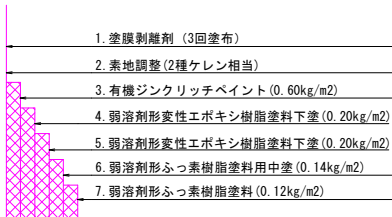
(注) A3版は表示縮尺の1/2に縮小表示

支承部

支承詳細図 S=1:10

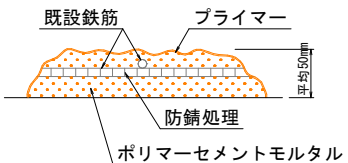


塗替え塗装工標準図
(Rc-II 塗装系)



- 注 記
1. 本橋の旧塗装は、B塗装系にて塗替えが行われており、成分試験にて鉛が検出されている。
 2. 塗膜剝離剤は、試験施工を行い塗布量及び塗布回数を最終決定のこと。
 3. 狭所部の塗替え塗装が困難な部位は、監督員と協議の上、塗装範囲を決定のこと。
 4. 素地調整はサンダーによる全面ケレンを行うこと。

断面修復工 (参考)



※ 防錆処理は鉄筋露出を伴う場合に適用

沓座モルタル補修工

合計(m²) 0.68

支承塗替え塗装工

合計(m²) 4.92

凡 例

	ひび割れ注入工
	断面修復工
	塗装塗替工 (Rc-II 塗装系)
	沓座モルタル補修工 (無収縮モルタル)

図面番号	第 10 枚 内 7 号
図面名称	市道昭和町大谷町 1 号線 目久美橋橋りょう補修工事 目久美橋 下部工補修図 (3)
縮 尺	図 示
製図年月日	令 和 年 月 日
写図年月日	令 和 年 月 日
米子市 都市整備部 道路整備課	

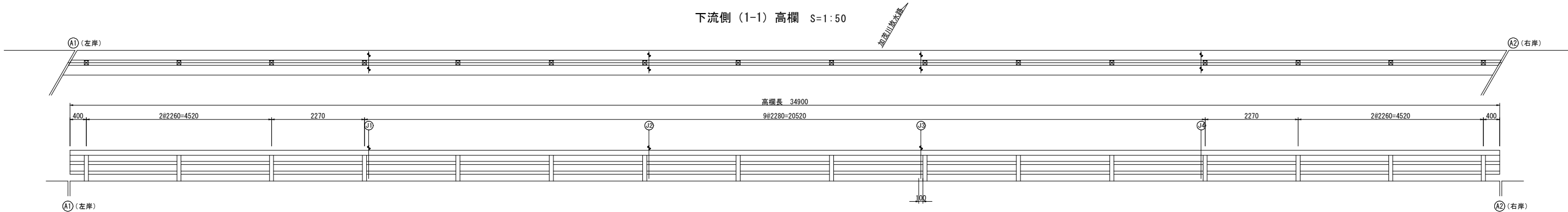
(注) A3版は表示縮尺の1/2に縮小表示

目久美橋 路上部補修図 (1)

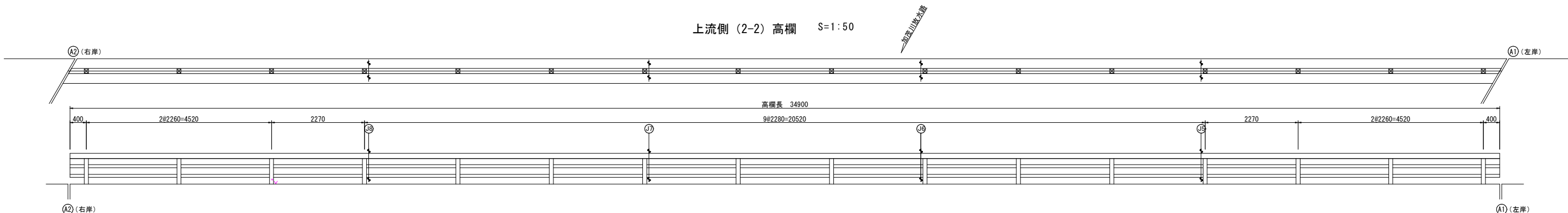
<高欄取替工>

高欄撤去

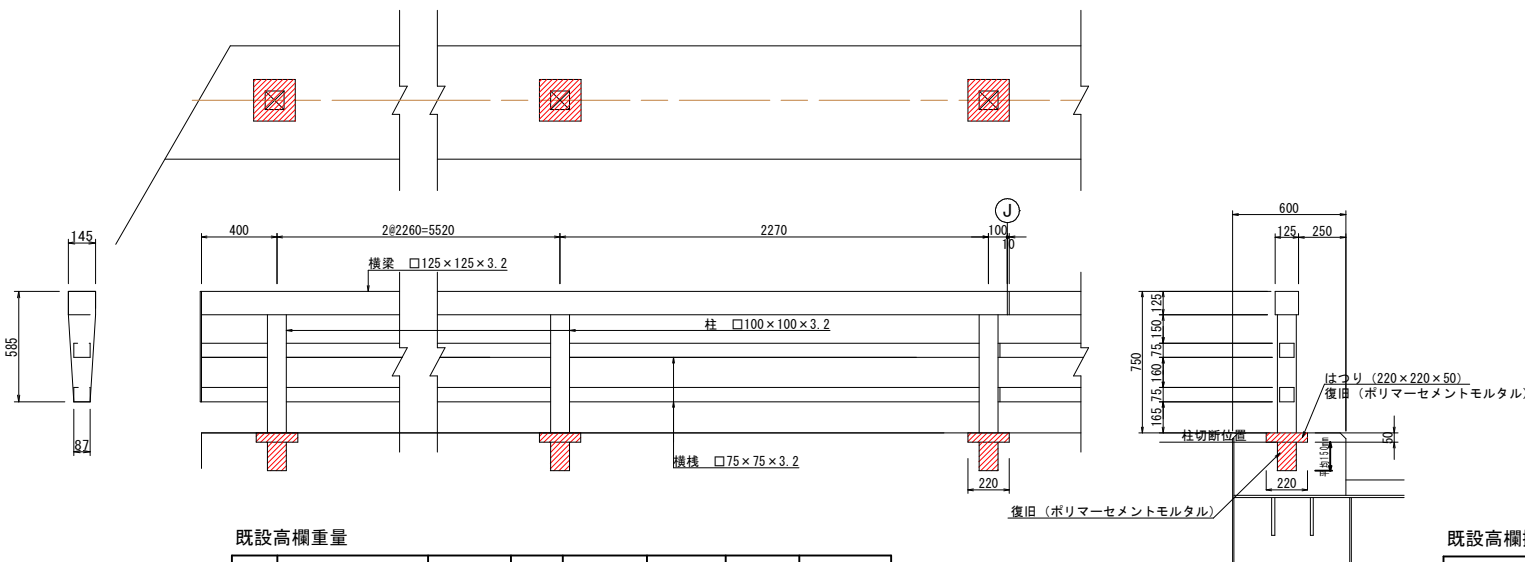
下流側 (1-1) 高欄 S=1:50



上流側 (2-2) 高欄 S=1:50



高欄寸法図 S=1:20



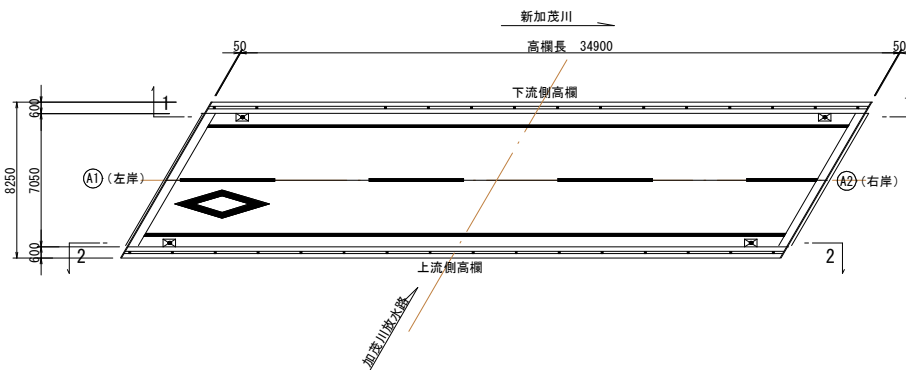
既設高欄重量

記号	断面	長さ (mm)	員数	単位重量 (kg/m)	1個重 (kg)	重量 (kg)	備考
①	□-125×125×3.2	2280	1	12.00	27.4	27	横梁
②	□-100×100×3.2	675	1	9.52	6.4	6	柱
③	□-75×75×3.2	2180	2	7.01	15.5	31	横枕
				1.8m当り重量		64	
				1.0m当り重量		35	

既設高欄撤去数量表

名称	規格	算式	数量	備考
高欄撤去	製作高欄	34.9m×2	69.8m	
高欄撤去重量		0.035t/m×69.8m	2.44t	

位置図



(注) A3版は表示縮尺の1/2に縮小表示

図面番号	第 10 枚 内 8 号
図面名称	市道昭和町大谷町1号線 目久美橋橋りょう補修工事 目久美橋 路上部補修図 (1)
縮 尺	図 示
製図年月日	令 和 年 月 日
写図年月日	令 和 年 月 日
米子市 都市整備部 道路整備課	

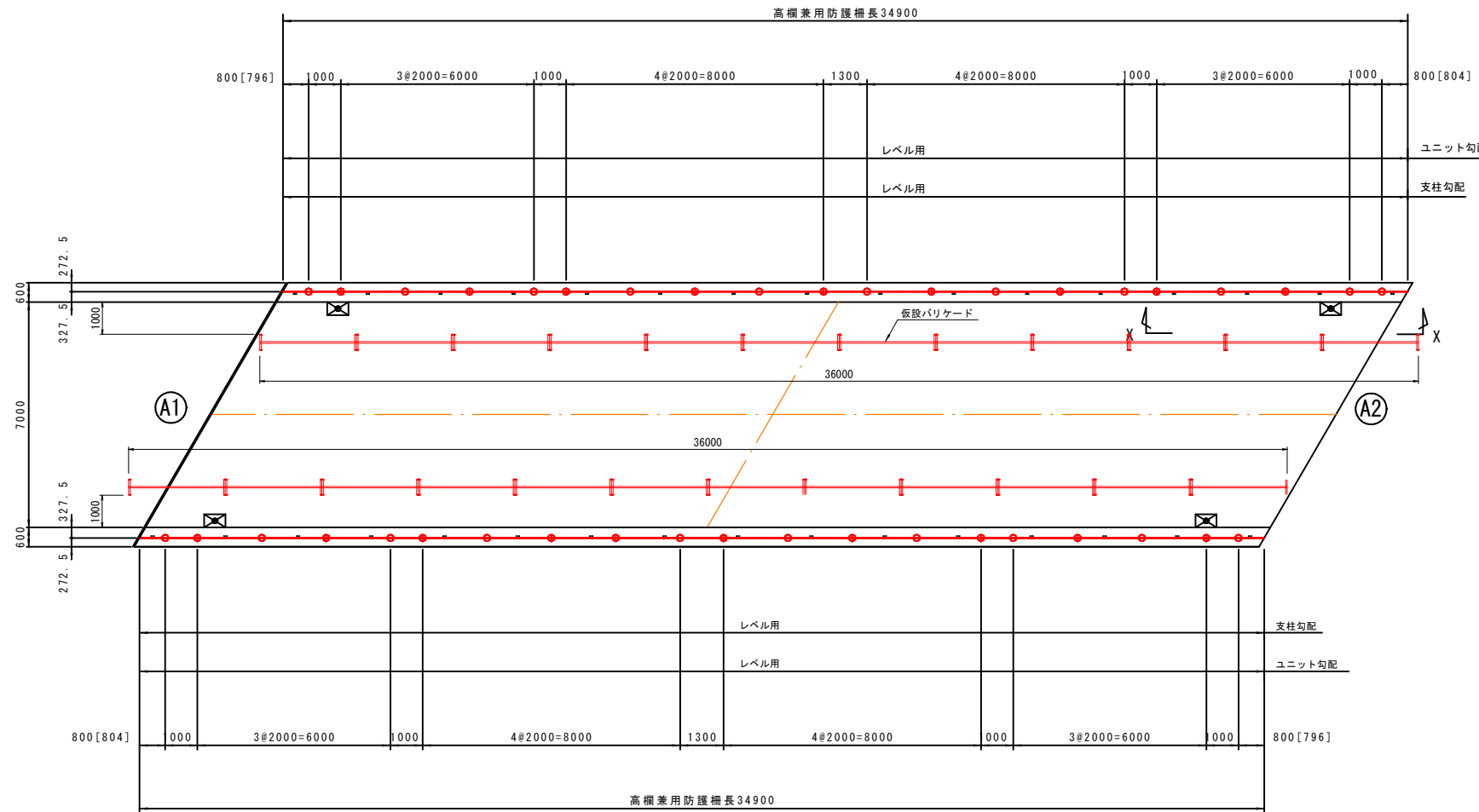
目久美橋 路上部補修図（2）

＜高欄取替工＞

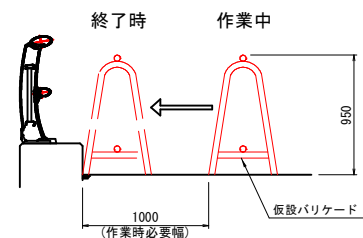
平面図 S=1/100

- 注記 1. 記入寸法はアンカーセンター押えの実長を示す。
2. [] 内寸法は主要横梁センター押え寸法とする。
3. 図中○印は、支柱取付位置を示し、○印は横梁
差し部を、+印は横梁継ぎ部を示す。
4 記入寸法は、確認の上製作の事。
5 縦断勾配は、確認の上製作の事。

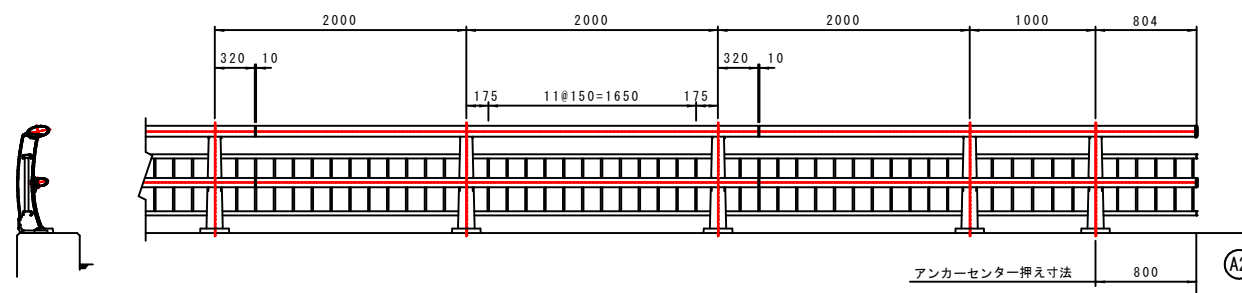
防護柵総延長 69M900 (レベル用)



高欄取替工仮設図（参考図） S=1/30



姿図 S=1/30



(注) A3版は表示縮尺の1/2に縮小表示

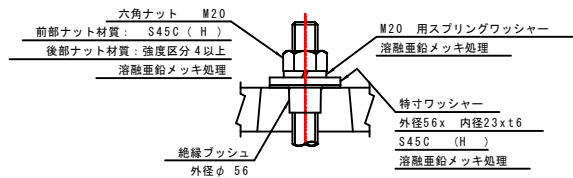
図面番号	第 10 枚 内 9 号
図面名称	市道昭和町大谷町 1 号線 目久美橋 路上部補修図 (2)
縮 尺	図 示
製図年月日	令 和 年 月 日
写図年月日	令 和 年 月 日
米子市 都市整備部 道路整備課	

目久美橋 路上部補修図 (3)

＜高欄取替工＞

アンカーナット締め付け部

S=1/3



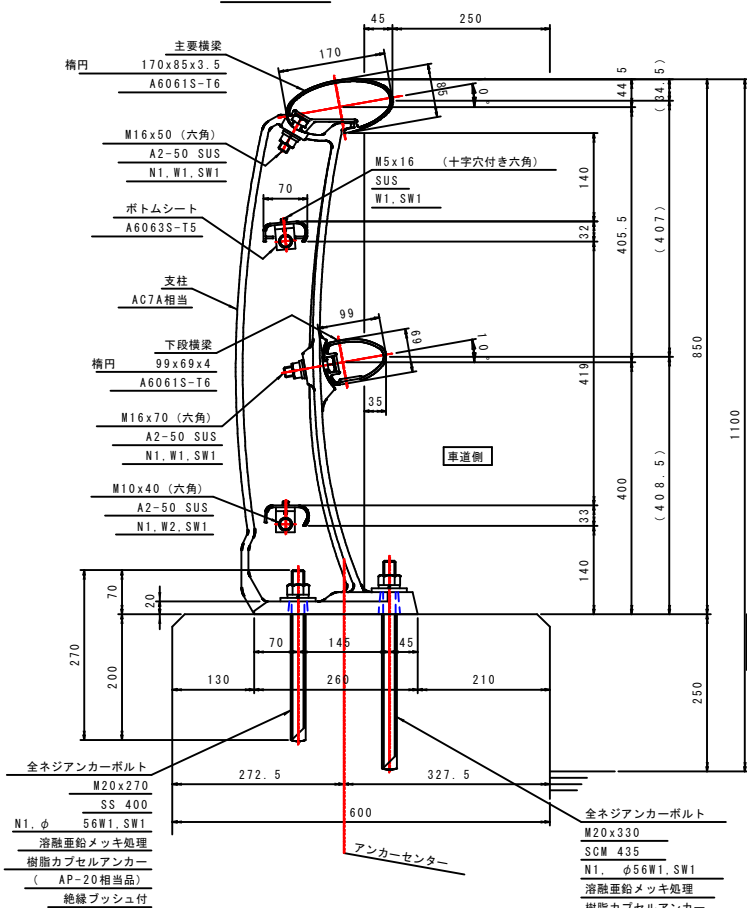
高欄兼用

車両防護柵取付詳細図

S=1/6

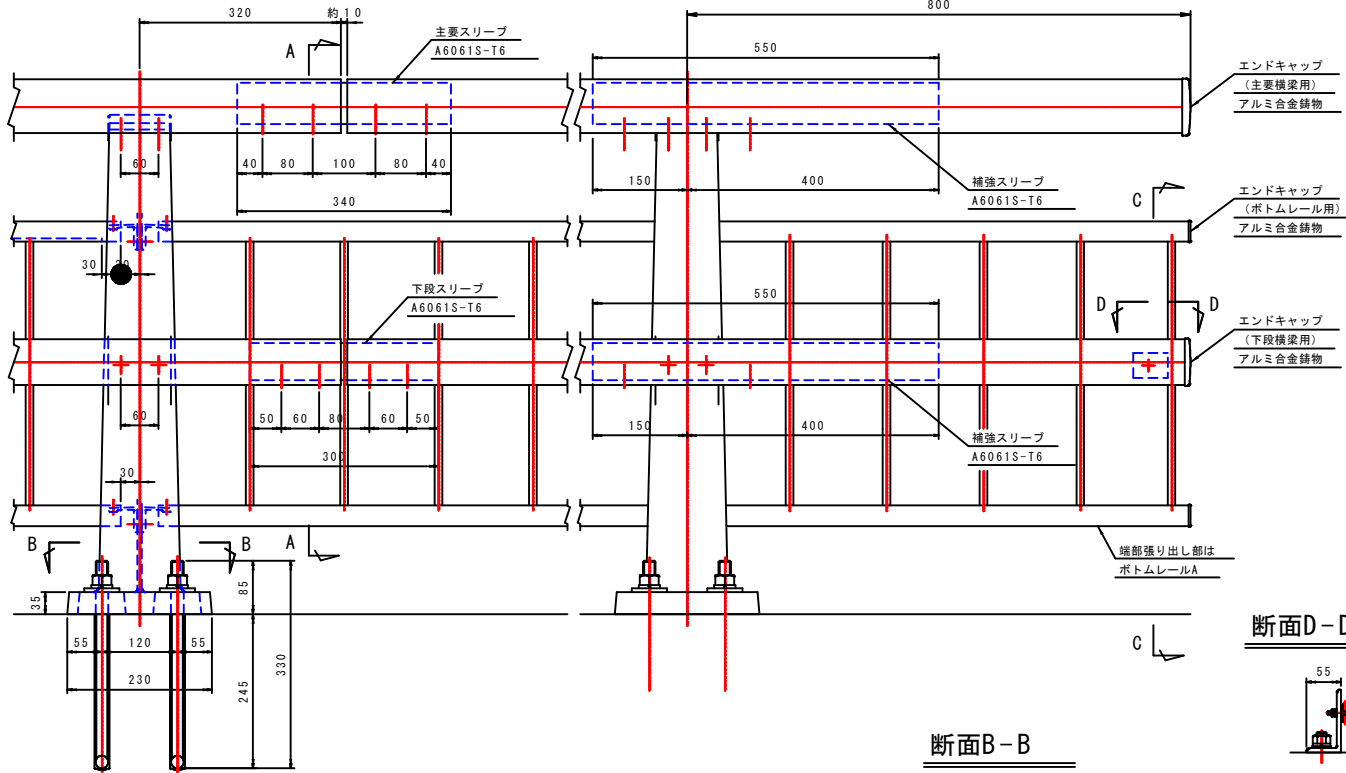
種別 B 種

種別 C 種

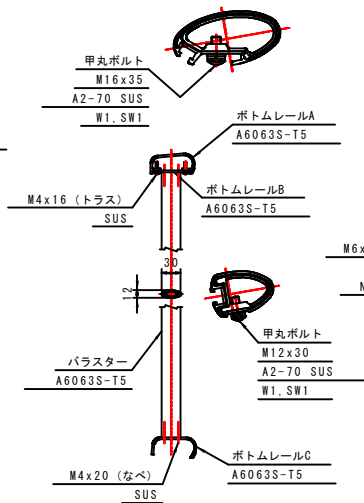


継手部

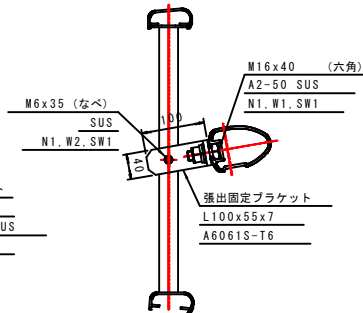
端部



断面A-A



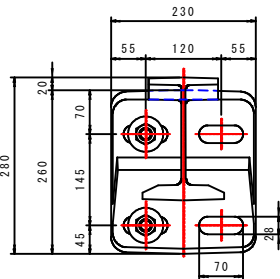
断面C-C



断面D-D



断面B-B



注記

- 表面仕様
主要横梁、下段横梁、主要スリプ、下段スリプ他、形材部品はアルマイト処理とし、
支柱は塗装処理、ボルト（アンカーを除く）はステンカラー、シルバー及びダークグレー色の時を除き着色処理とし、
色調は別途打合せとする。
- 本防護柵の設計仕様は、（社）日本アルミニウム協会 土木製品開発委員会作成
「アルミニウム合金製橋梁用防護柵設計要領」（平成30 年6 月）による。
- 本防護柵の支柱は、レール用を示し、0 ～2.5% 勾配に使用とする。
5% 用は2.5% ～7.5% 勾配に使用とする。
- ボルト・ビス類の SUS 材は、塩害対策処理とする。

コンクリート強度 $\sigma_{ck}=21\text{N/mm}^2$ 以上

(12M間たり)							
順番	名 称	寸 度	数 量	単 重	1 本当	総重量	材 質
1	主要横梁	3990.0	3	4.925	19.65	59.0	A6061S-T6
2	下段横梁	3990.0	3	3.394	13.54	40.6	A6061S-T6
3	支柱		6		11.96	71.8	AC7A 相当
4	主要スリプ	340.0	3	4.667	1.59	4.8	A6061S-T6
5	下段スリプ	300.0	3	3.195	0.96	2.9	A6061S-T6
6	ボトムレールA	1940.0	6	1.145	2.22	13.3	A6063S-T5
7	ボトムレールB	1880.0	6	0.461	0.87	5.2	A6063S-T5
8	ボトムレールC	1940.0	6	0.929	1.80	10.8	A6063S-T5
9	バラスト	421.0	72	0.369	0.16	11.5	A6063S-T5
10	ボトムシート	30.0	24	1.171	0.04	1.0	A6063S-T5
11	甲丸ボルト	M16x35	12	0.11	1.3		A2-70 SUS
12	"	M12x30	12	0.05	0.6		A2-70 SUS
13	六角ボルト	M16x50	12	0.17	2.0		A2-50 SUS
14	"	M16x70	12	0.20	2.4		A2-50 SUS
15	"	M10x40	12	0.06	0.7		A2-50 SUS
16	十字穴付き六角ボルト	M5x16	24	0.004	0.1		SUS
17	なべタッピンネジ (2 種)	M4x20	288	0.002	0.6		SUS
18	トラスタッピンネジ	M4x16	48	0.002	0.1		SUS
19	全ネジアンカーボルト	M20x330	12	0.87	10.4		SCM435
20	"	M20x270	12	0.75	9.0		SS400
21	樹脂カプセルアンカー	AP-20 相当品	12	-	-		
22	樹脂カプセルアンカー	AP-20L 相当品	12	-	-		
					総重量	248.1	Kg/12M
					M 当り	20.7	Kg/M (端部は除く)

(注) A3版は表示縮尺の1/2に縮小表示

図面番号	第 10 枚 内 10 号
図面名称	市道昭和町大谷町1号線 目久美橋 路上部補修図 (3)
縮 尺	図 示
製図年月日	令和 年 月 日
写図年月日	令和 年 月 日
米子市 都市整備部 道路整備課	